

奥琵琶湖パークウェイつづら尾崎展望台の「恋人の聖地」をPRしようと、長浜市や観光団体、地域住民らでつくる「景観を活かしたまちづくり実行委員会」が、キャンペーンボードを作った。四日に長浜港一帯である長浜・北びわ湖大花火大会（中日新聞社共催）の会場でお披露目する。（鈴木智重）

キャンペーンボード作製

奥琵琶湖一帯は昨年七

月、恋人の聖地「丸子船」が運ぶ恋 奥びわ湖長浜」に認定。市が象徴として、展望台に大理石製のモニュメントを設けた。モニュメントのデザインもかる船」も作った。ボードと合わせ、市内を中心としたイベントで活用

長浜の花火大会
きょうお披露目

ンに模したボードは、前面が一・八四方。ハート形をした丸子船の帆の部分から顔が出せるようになっていて、記念写真が撮れる。両横には、モニュメントと同様に専用リボンが結べるようになる。四日は北ビワコホテルを飾り、体験用にリボン100本を無料で配る。市の担当者は「聖地の知名度を上げて、多くの人に足を運んでもらいたい」と話している。

奥琵琶湖は「恋人の聖地」

「恋人の聖地」をPRするためのキャンペーンボード。手前にあるのが「おもかる船」＝長浜市役所北部振興局で

